



まもなく！第64回日臨技近畿支部医学検査学会

11月22日(土)、23日(日)に国立京都国際会館で日臨技近畿支部学会が開催されます。プログラムは学会HPからご確認いただけます。一般演題は143題となっています。参加登録は日臨技HPからお願いいたします(10月31日まで登録延長)。みなさまに会場でお会いできるのを実行委員一同楽しみにしております。



事前参加
10/31まで
登録延長！

きょうりんちゃん

特別講演1

京大病院にAIを入れてみた

演者：黒田 知宏

(京都大学医学部附属病院
医療情報企画部・京都大学
大学院情報学研究科)



特別講演2

iPS細胞を用いた赤血球、血小板生成の進捗

演者：江藤 浩之

(京都大学iPS細胞研究所・京都
大学大学院医学研究科)



シンポジウム

学会HP ⇒ <https://kamt.jp/congress/kinki64/>

生理：超音波パニック所見を見極める！

化学：肝機能検査を深める～他分野の検査を知る～

輸血：血液型Variantsについて学ぶ

遺伝子：分野横断的に考えるマルチプレックス遺伝子検査

北部：今後の臨床検査を取り巻く環境や可能性を考える

血液：何回聴いても難しい！WHO分類第5版の変更点

一般：尿検査から病態を読み解けるか

青年部：君たちは今、何をすべきか

南部：災害時に臨床検査技師が出来ること

情報システム：Next challenge!! 学会で発表してみよう！

チーム医療：今、現場が求めている！

二次救急における検査技師の力

病理：Next challenge

～変動する時代への適応と深化～ 病理編

微生物：多様な視点

～微生物検査以外の技師は

感染症をこう見ている～

チーム医療：進化する業務の境界線

— 他職種で考えるタスクシフトのリアル —



教育講演

日臨技企画や文化講演など
詳細はプログラムをご参照ください。



生理：救急・集中医療における心電図・脳波検査に求められるもの

化学：薬物血中濃度測定について ～薬剤師・臨床検査技師それぞれの視点～

輸血：予期せぬ反応の対応。こんな時どうする？

遺伝子：感染微生物検査における多項目遺伝子検査の活用とClinical Impactについて

血液：検体凝固やEDTAのせいだけじゃなかった！気付いていきたいピットフォール

微生物：感染症診断に必要な知識を学びたおせ！～感染症診断のトリセツと検査～

病理：リンパ腫の見方、考え方について

一般：一般検査分野におけるNext challenge

学会HP
QRコードからの
アクセスはこちら



➤ 令和7年度新入・転入研修会を開催しました。

新入・転入会員研修会を8月9日(土)に開催しました。今年度は「日臨技の組織・運営説明」を今川副会長から、「京臨技の組織・運営説明」を園田副会長からそれぞれ日臨技と京臨技の組織と運営についての説明がありました。未来の臨床検査に期待すること、また研修会や研究班に参加することで施設を越えた交流や仲間づくりについて熱く語られ、参加された会員の皆様も非常に興味深く聞いていたのが印象的でした。



新入・転入会員研修会に続いて交流会を行いました。新入会員以外にも研究班員や理事も入って活発な意見交換が行われ、クイズイベントなども大変盛り上がり旺盛な交流ができました。

京都民医連中央病院
増田信弥

➤ 今年も参加！嵐山耐熱リレーマラソン！

酷暑が続く中、8月3日(日)に耐熱リレーマラソンに参加しましたのでご報告します。



本大会は、42.125kmをグループで襷を繋ぎ制限時間内(4時間10分)に完走を目指します。前は6名で参加していましたが、若手を誘い今回は13名で参加しました。チーム名は、「走れ！臨床検査技師」。普段は、エアコンの効いた部屋で検査を行っている臨床検査技師ですが、当日は外気温38℃と外出も危険レベル。暑さを我慢しながら、1周1kmずつ走り完走タイムは3時間24分と、前回より20分も早く完走ができました。1kmくらいと思われるかもし

れませんが、暑さと砂埃にまみれて、少しでも速く次のランナーに襷を繋ぎたい気持ちで必死で走るとかなり辛いです。(若手は颯爽と走ってましたが)

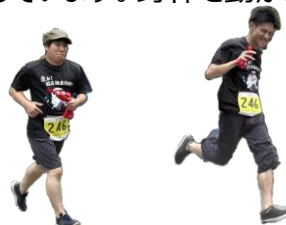
1人1周ずつと決めていたにも関わらず次のランナーが行方不明となり、私ならそのまま待っていたと思いますが、続けて2周走ってくださった白波瀬顧問をみて仕事でもこのようなトラブルがあってもフォローをされているのであろうと感じました。また、今回は走るメンバーが多く若手も増えとても楽で更にタイムも前回より短縮と、相乗効果が得られました。職場は違っても臨床検査技師という、同じ職種で集まり目標に向かって協力した結果の達成感は最高です。



ベテランの冷静さと若手の俊敏性を活かして、今後京都で開催される学会等でも、このような相乗効果が得られるのではないのでしょうか？ 昨年は、高槻ハーフマラソンや、丹波篠山フルマラソンにも検査技師メンバーで参加しています。身体を動かしたい方、ご連絡お待ちしておりますので是非声かけてください。



京都大学医学部附属病院 検査部
尾花 康子



京臨技Instagram



こちらからも
学会情報
配信中！

<https://kamt.jp>

会員専用ページ：ID kamt PW kyoringi

ご意見等は、京臨技ホームページの
トップページ最下部「お問合せフォーム」ボタンから

発行所 (一社)京都府臨床検査技師会

発行責任者・編集者：江口 光徳

編集者：藤原 麻有、齊藤 祐巳子、相田 幸雄、増田 健太、白波瀬 浩幸
〒606-8155京都市上京区千本竹屋町東入ル主税町910番地

会員専用ページの
IDとPWは
全会員共通です